

知基第180号
平成30年1月9日

特命全権大使（沖縄担当）
川田 司 殿

沖縄県知事 翁長雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。



知基第180号
平成30年1月9日

沖縄防衛局長
中嶋 浩一郎 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種 of 飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。

知基第180号
平成30年1月9日

第3海兵遠征軍司令官
ローレンスD. ニコルソン 殿

沖縄県知事 翁長雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止を確実に実施するとともに、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図るよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種 of 飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を強く要請します。

知基第180号
平成30年1月10日

防衛大臣
小野寺 五典 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種 of 飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。



知基第180号
平成30年1月10日

外務大臣
河野 太郎 殿

沖縄県知事 翁長雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種機の飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。



知基第180号
平成30年1月10日

内閣官房長官
沖縄基地負担軽減担当大臣
菅 義偉 殿

沖縄県知事 翁長雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっております。日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。



知基第180号
平成30年1月10日

内閣総理大臣
安倍 晋三 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



相次ぐ米軍ヘリコプターの不時着について（抗議）

平成30年1月6日16時頃、米軍のUH-1ヘリコプター1機が伊計島に、わずか2日後の8日16時45分頃、AH-1ヘリコプター1機が読谷村に不時着しました。

両事故とも、県民への被害は報告されておりませんが、航空機関連事故は一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねません。

普天間飛行場所属機をはじめ米軍機は、この1年間に約30件もの墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを繰り返し、県民の不安はこれまでになく高まっており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かせ続けてきたことは、極めて遺憾であります。

昨年12月のCH-53Eからの部品落下事故を受け、県などが航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを求めてきたにもかかわらず、日米両政府が一顧だにしない中で、米軍が再びこのような事故を繰り返し起こしたことに、強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、これまで県が求めてきた全航空機の緊急総点検とその間の飛行中止の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを図ることを、政府の責任で米軍に実現させるとともに、県が求める新たな協議会を設置するよう強く求めます。

また、特に今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施を米軍に対し働きかけるよう強く要請します。